

教科〔理科〕第〔2〕学年		年間指導計画
* 具体的到達目標		月 学習内容
<p>(1) 1分野の目標</p> <p>① 物質は原子や分子からできていること、記号で表されることを知る。</p> <p>② 化学変化は反応前とは異なる物質が生成すること、原子や分子のモデルで説明できること、化学式及び化学反応式を理解すること。</p> <p>③ 分解反応から元の物質の成分が推定できることを見いだすこと。</p> <p>④ 質量保存の法則及び定比例の法則を見いだすこと。</p> <p>⑤ 静電気の発生とその性質を知り、電流との関係を見いだすこと。</p> <p>⑥ 回路の各点を流れる電流や電圧についての規則性を見いだすこと。</p> <p>⑧ 金属線にかかる電圧・電流・電気抵抗の関係を見いだすこと。</p> <p>⑨ 磁界を磁力線で表すこと、コイルの回りの磁界について理解する。</p> <p>⑩ ローレンツ力や電磁誘導について知る。</p> <p>⑪ 電流から熱や光などが出ること及び電力との関係を見いだすこと。</p> <p>(2) 2分野の目標</p> <p>① 動物は運動することや食物をとることなど植物と違った特徴があることを見いだす。</p> <p>② 細胞をとらえ、その働きを知ること</p> <p>③ 動物の体のつくりと働きとを関連付けてとらえること。</p> <p>④ 刺激に対する反応を感覚器官、神経系、運動器官のつくりと関連付けてとらえる。</p> <p>⑤ 動物には消化や呼吸、血液の循環についての仕組みを観察や実験の結果と関連付けてとらえる。</p> <p>⑥ 体のつくりや子の生まれ方などの特徴を比較し、動物が幾つかの仲間に分類できることを見いだすこと。</p> <p>⑦ 気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだすこと。</p> <p>⑧ 霧、雲のでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けてとらえる。</p> <p>⑨ 前線の通過に伴う天気変化を暖気、寒気と関連付けてとらえること。</p>	4	動物のくらしやなかまと生物の変遷
	5	4章 動物のなかまと生物の進化
	6	3章 感覚と運動のしくみ
	6	2章 生命を維持するはたらき
	6	1章 生物の体をつくる細胞
	7	化学変化と原子・分子
	7	1章 物質のなりたち
	9	2章 さまざまな化学変化
	9	3章 化学変化と物質の規則性
	10	電流の性質と利用
	11	1章 電流の性質
	12	2章 電流の正体
12	3章 電流と磁界	
* 評価の観点・方法		
①自然事象への関心・意欲・態度 (提出物・レポート・授業態度等を総合的に判断して評価します。)		
②科学的思考・表現 (定期試験・レポート等を総合的に判断して評価します。)		
③実験・観察の技能 (定期試験・レポート・実技テスト等を総合的に判断して評価します。)		
④自然事象知識・理解 (定期試験・小テスト等を総合的に判断して評価します。)		
* 使用教材		
教科書 サイエンス1・2分野上下 (啓林館)		
補助教材 理科ノート (新学社)		

* 学習上の注意・助言

(1) 意欲的に授業に取り組もう

- ①授業開始のチャイムが鳴る前には着席し、教科書・ノートなどを机上に出しておこう。
- ②先生や友だちの発言をしっかりと聞こう。
- ③黒板の内容は理科ノートにしっかりとまとめて書こう。
- ④自分の考えをできるだけ発表しよう。

(2) 小テストを行います。

- ①授業の内容から出題されます。復習をしておこう。

(3) 実験や観察をするときには、目的にそって行い、レポートに結果や気づきをできるだけ詳しく記入し、結果から考察しよう。

(4) 理科ノートなどの提出物の期限を守ろう。

* 家庭学習の仕方

- (1) 理科ノートや理科ファイルは定期的に提出します。授業の進度に従って取り組もう。
- (2) 重要語句・公式は教科書をよく読み意味を理解しておこう。
- (3) 計算問題などは単位に注意し、必ず式を書くようにしよう。
- (4) 新聞やテレビ、ネット等を利用し理科に関係する現象に関心をもとう。

1 地球の大気と天気の変化

1章 大気中の水の変化

2

2章 大気の動きと天気の変化

3

3章 大気の動きと日本の四季